東北学院創立150周年 LIFE LIGHT LOVE募金
「募金」への協力のお願い

学校法人東北学院　理事長　原田　善教
東北学院同窓会　会　長　森山　博

学校法人東北学院は、1886年にキリスト教伝道者押川方義とアメリカ合衆国宣教師ウィリアム・E・ホーイの両名の協力によって仙台に創立され、2036年に創立150周年を迎えます。

本院はこれまで「LIFE LIGHT LOVE」をスクールモットーとして人格教育に努め、国内外で活躍する約20万人の同窓生を輩出してまいりました。

今後、将来にわたって、さらに良質かつ高度な教育・研究を継続し、優れた人材の育成に貢献することが本院の社会的な使命であると認識しています。そして、新しい時代の要請に十分に対応できる教育・研究環境を整備し、充実させることはもとより、様々な事情により経済的に困窮する本院の学生・生徒・園児に対する強力な支援も忘れてはなりません。

これら本院のなすべきことを達成するためには、本院の経営努力を重ねることが第一と心得ておりますが、自助努力には限りがあるのも事実です。来る創立150周年に向けて、改めまして、同窓生の方々、学生・生徒・園児の保護者の方々、地域社会の方々、本院とご縁のある企業その他の関係者の方々に対し、温かいご理解とご支援をお願いする次第です。

どうか、私たちの思いを受けとめていただき、募金活動へのご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 東北学院大学総合キャンパス整備事業を支援する
- 東北学院大学 ― 東北学院大学アーバンキャンパス整備事業募金

2 教育と学生・生徒・園児の学びを支援する
- 東北学院大学 ― 東北学院大学課外活動支援募金
- 東北学院大学 ― 東北学院大学緊急給付奨学金募金
- 東北学院中学校・高等学校 ― 東北学院中学校・高等学校奨学金募金
- 東北学院中学校・高等学校 ― 東北学院中学校・高等学校教育環境整備募金
- 東北学院榴ケ岡高等学校 ― 東北学院榴ケ岡高等学校奨学金募金
- 東北学院榴ケ岡高等学校 ― 東北学院榴ケ岡高等学校教育環境整備募金
- 東北学院幼稚園 ― 東北学院幼稚園教育事業支援募金
- 東北学院大学～幼稚園 ― ALL東北学院国際交流推進募金

3 デフォレスト館（旧宣教師館）整備・保存事業を支援する
- デフォレスト館整備・保存事業募金

申込方法
❶インターネット（クレジットカード決済・コンビニ決済）、❷所定の振込用紙、❸財務課窓口（現金）よりお申し込みいただけます。
「東北学院創立150周年 LIFE LIGHT LOVE募金」ホームページ
https://www.tohoku-gakuin.jp/activity/donation/
ホームページにはこちらのQRコードからアクセスできます▶

問い合わせ先
法人事務局 財務部財務課
TEL.022-264-6467　E-mail:bokin@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

第五十回 サマー・カレッジ

大学宗教主任　藤野　雄大

八月七日と八日に宗教部主催「サマー・カレッジ」が開催された。

今回は五十回目という節目のサマー・カレッジであった。参加者は学生二十五名、教職員十二名の合計三十七名だった。

今年度は「東日本大震災と東北学院」というテーマで、東日本大震災によって本学が受けた被害状況を知るとともに、震災後の教職員・学生のボランティアへの取り組みを学ぶ機会が設けられた。仙台市民活動サポートセンターの佐藤司氏、本学職員で震災当時ボランティア活動に携わっていた其田雅美氏を講師に招き、それぞれの経験に基づく講演をいただいた。土樋キャンパスで主題講演第一部を聞き、昼食を取ったのち、秋保にあるホテルに移動し、レクリエーションと分団協議を行った。二日目にもキリスト者学生主導の礼拝、主題講演第二部に続いて、ワークショップが行われ、盛りだくさんなプログラムであった。

震災によって本学の学生・卒業生、その関係者の中で犠牲になった方がいたことに改めて思いを馳せるとともに、震災後には学生が主体となった活発なボランティア活動が行われていたことを知ることができた。また、震災はいつ起きるか分からないからこそ、この体験を風化させてはいけないと痛感した。もちろん学びだけでなく、バーベキューや花火など楽しい交流を持つこともできた。参加費やテーマ選定など今後の検討課題も示されたが、充実した時を過ごすことができた。

第六十九回 教職員修養会

大学宗教主任　大門　耕平

九月九日に第六十九回東北学院大学教職員修養会が実施された。今年度も昨年度と同様、日帰りでの開催となった。会場は「ホテル松島大観荘」で、天候にも恵まれ、日本三景松島の美しい景色を眺める中での修養会となった。

修養会では、東京女子大学の森本あんり学長をお招きし「聖書に聴く」という主題のもと、二つの講演をいただいた。最初に、森本先生が名誉教授でもある国際基督教大学（ICU）の取り組みについて「平和と人権『理念』を掲げ続ける教育」と題し、大学設立の歴史を振り返る中で、キリスト教を大学の根幹として位置付け、継続してきた歩みについて講演いただいた。国際基督教大学はキリスト教による価値判断をくだすことを教育で重視していることを示していただいた。また、入学式で世界人権宣言に署名するという活動を、大学が設立された一九五三年から継続していることも紹介いただいた。

次に「挑戦する知性『世間に屈しない人格を養う教育』東京女子大学の実践例」と題し、戦争の時代への反省としてのリベラルアーツ教育を重視する東京女子大学の教育について講演いただいた。その中で、「知のかけはし」という専門分野の異なる教員が二名で担当する先進的な授業の実践例を提示いただいた。

講演後、分団協議の時間を持ち、森本先生の講演と東北学院大学を結び付けた活発な意見交流がされた。参加者は限られていたが、深い学び、豊かな交流が与えられた一日となった。

二〇二五年度 九月期卒業式を挙行

九月三十日、土樋キャンパスのホーイ記念館ホールで、二〇二五年度九月期卒業式が行われ、学部生合計五十四名が出席した。

式典は、平野幹雄学務部長の開式宣言で始まり、校歌斉唱、原田浩司宗教部長による聖書朗読と祈禱が行われた。続いて、大西晴樹学長から各学部の代表者に卒業証書が手渡された。

大西学長は式辞で、スクールモットーの中から「愛」をテーマに、卒業生に期待されるリーダー像として「愛と奉仕のリーダーシップ（サーバント・リーダーシップ）」を挙げ、明確なミッション（使命）のもとで他者に奉仕し、サポートしながら導くリーダーシップであり、イエス・キリストがその理想であると語った。そして、「苦しい時、うれしい時に、本学のミッションに立ち返り、自分を見つめ直してほしい」と、卒業生へはなむけの言葉を贈った。

卒業生は四年間の思い出が詰まった学び舎に別れを惜しみながらも、それぞれの将来に向けて晴れやかな笑顔で巣立っていった。

寄付者ご芳名

ご芳志に心から感謝いたします。

（2025年8月1日～9月30日までのご寄付者）

【東北学院中学校・高等学校奨学金募金】
〈個人〉
金三〇、〇〇〇円　阿部　慶孝殿

【東北学院中学校・高等学校教育環境整備募金】
〈個人〉
金五〇、〇〇〇円　匿名殿

【東北学院幼稚園教育事業支援募金】
〈個人〉
金一〇〇、〇〇〇円　原田　善教殿

◆創立150周年 LIFE LIGHT LOVE募金【東北学院大学アーバンキャンパス整備事業募金】
〈団体〉
金五〇、〇〇〇円　東北学院同窓会 セントTG会殿　東北学院同窓会 藤崎TG会殿

【デフォレスト館整備・保存事業募金】
〈個人〉
金一〇〇、〇〇〇円　原田　善教殿　佐藤　出殿
金一五、〇〇〇円　木村　拓人殿
〈個人〉
金一〇、〇〇〇円　木村　拓人殿

公開クリスマス

東北学院大学第3回五橋クリスマス
日程　12月4日(木)18時20分～
場所　押川記念館 押川記念ホール

2025年度第76回公開東北学院クリスマス
日程　12月12日(金)18時30分～
場所　ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
主催　学校法人東北学院 東北学院同窓会

※日程等が変更となる場合もございますので、詳しくは大学ホームページをご確認ください。

本学名誉教授 元法学部教授 伊藤一義先生 逝去

本学名誉教授で元法学部教授の伊藤一義先生には、六月十二日に逝去された。七十八歳。

伊藤先生は、一九八九年に東北学院大学助教授として採用され、二〇〇二年に教授に昇進。二〇〇四年に法学部法律学科長、二〇一四年に退職された後も長く嘱託教授として務められた。

問い合わせ先
法人事務局 財務部財務課
電話　022-264-6467
E-mail　bokin@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
ホームページはこちらから
創立150周年 LIFE LIGHT LOVE募金